

(様式4)

食育パートナーシップ事業 ～社員食堂を健康づくりの情報発信の場に～

健康福祉事務所名 豊岡健康福祉事務所

1 食育推進状況

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none">○ 子育て世代の食育力の強化:成人の高血圧リスクが県下でも高い地域であり、食育力の強化に向けて、働きざかり世代(子育て世代の特に男性)に対する食習慣の実態把握・食育アプローチが不十分である。○ 地域における食育活動の連携強化:食育機関・団体と働きざかり世代の繋がりが弱い。
推進方策	<ul style="list-style-type: none">○ 働きざかり世代(子育て世代の特に男性)の食習慣の実態把握を行う。○ 実態把握と地域の健康課題を踏まえ、食育実践事業を関係機関と協働で実施し、生涯に渡り健康で自立した生活を送るための食生活の普及・啓発に取り組むとともに、管内の食育関係機関と企業等の働きざかり世代との新たなパートナーシップの構築を目指す。
進捗状況	<ul style="list-style-type: none">○ 多機関と連携して、食を通じた社員の健康づくりに取り組むことで、食育関係機関・団体と企業の新たな連携に繋がった。○ 食環境整備と社員の行動変容との関係も明らかにすることが今後の課題。

2 食育関係者

【関係団体等】

- ・市内企業(給食施設)(2)
- ・給食委託会社(1)
- ・但馬労働基準協会
- ・食品小売業(1)
- ・管内各市町いずみ会

【行政】

- ・管内各市町健康部門
- ・豊岡健康福祉事務所

3 食育パートナーシップ実践活動の概要

実施テーマ	社員食堂を健康づくりの情報発信の場に		
対象及び参加者数	①② モデル企業と関連企業社員 387人 ③ モデル企業社員 62人 ④ 但馬労働基準協会登録企業 約450社		
課題及び目標	① 働きざかり世代(子育て世代の特に男性)の高血圧に関連する食習慣の実態把握 ② 管内の食育関係機関と企業等の働きざかり世代との新たなパートナーシップの構築		
事業内容	日時・場所	内容	講師・運営スタッフ
	6月 モデル企業	○社員を対象とした食塩摂取量に関する食習慣調査	モデル企業 豊岡健康福祉事務所
	8～10月 モデル企業	○月替わりの卓上メモ・ポスター等を活用した普及啓発	モデル企業 給食委託会社 豊岡健康福祉事務所
	10月6日(火) 17:15～18:15 モデル企業	○実践・健康教育 『はじめよう！高血圧予防』	モデル企業 豊岡市健康増進課 豊岡市いずみ会 豊岡健康福祉事務所
1月 但馬労働基準協会登録企業	○但馬全域の企業に向けて普及啓発 リーフレット配付 『はじめよう！食を通じた健康づくりのすすめ』	但馬労働基準協会 豊岡健康福祉事務所	
評価結果	<ul style="list-style-type: none">○ 実態調査結果 回収数298人(回収率77%) 社員の食習慣の全体的な課題を明らかにすることで、具体的な健康情報の発信に繋げることができた。事後調査においても、食習慣改善に関する前向きな記載が多く、実践活動を通して、『減塩』や『野菜摂取』に関する意識づけを行うことができたと考えられる。○ モデル企業の事例報告を受け、新たに別の企業より自発的に自社の食環境整備に取り組みたいとの声もあり、働きざかり世代を取り巻く食環境整備の拡大に繋がった。		

働きざかり世代に向けて 地域が連携して進める食育

<課題>

- ①但馬は高血圧リスクの高い地域
- ②働きざかり世代への食育の機会が少ない

<今年度の目標>

- ①高血圧に関連する食習慣の実態把握
- ②食育関係機関と企業等の新たなパートナーシップの構築

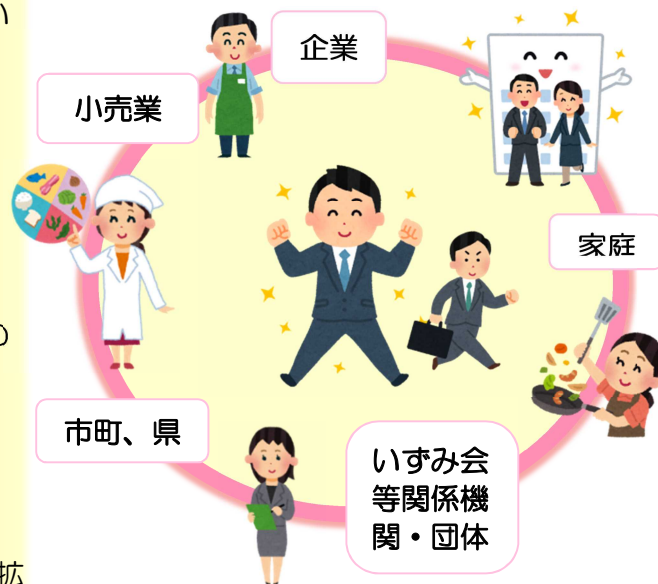
<今年度の取組み>

- ①モデル企業を対象に、働きざかり世代の食習慣の実態把握を行う。
- ②実態把握と地域の健康課題を踏まえ、食育実践事業を関係機関と協働で実施。

<次年度以降の方向性と課題>

新規の参集者（新規企業・小売業等）の拡大に努め、食を通じた健康づくりに取組む企業を増やす。
また、食環境整備と社員の行動変容との関係も明らかにすることが今後の課題

《地域の横の連携》



働きざかり世代に対する食育推進に向けた連携体制づくり（イメージ図）



食育パートナーシップ会議



実践活動関係機関との会議

- 5月13日（水） ・ 25日（月）
- 1 事業従事者との事業背景・事業目的の共有
- 2 実践活動の実施打合せ



豊岡市内 食育関係機関・団体との会議

7月23日（木）

- 1 事業説明
「事業所給食を活用した食育」
- 2 情報提供
「働きざかり世代を対象とした健康づくりの取組み」
- 3 協議・意見交換
テーマ「成・壮年期の食生活改善に取り組むためには」
- 4 次回会議

管内 食育関係機関・団体との会議



1月12日（火）

- 1 実践報告
「社員食堂を健康づくりの情報発信の場に」
- 2 情報提供
「企業における食を通じた健康づくりに向けた取組み」
- 3 協議・意見交換
テーマ「働きざかり世代のさらなる食育の推進に向けて」



食育パートナーシップ実践活動

～ 社員食堂を健康づくりの情報発信の場に ～



第1回 高血圧に関連する食習慣の実態調査

- 対象：モデル企業社員並びに関連企業社員 387人
- 期間：平成27年6～7月
- 方法：簡易食事調査票「塩分チェックシート」（製鉄記念八幡病院 院長 土橋卓也氏作成）を基本に、身長体重・血圧・飲酒等に関する項目を加えた調査表を配付
- 結果：実態調査結果 回収数298人（回収率77%）
全体的な社員の食習慣の傾向・課題が明らかに

簡単！あなたの塩分摂取量をチェック！

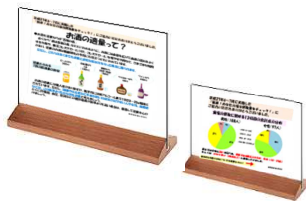
食塩摂取量の目安は、成人で1日10g未満です。食塩摂取量の多い食生活は、高血圧、心臓病、脳卒中、腎臓病の原因となります。

（このチェックシートは、塩分摂取量の目安を参考に、食生活の改善に役立ちます。）

塩分チェック	3点	2点	1点	0点
1. お粥、スープ類	1日1回以上	1日1回未満	2-3回未満	頻りに多い
2. 漬物、梅干し類	1日1回以上	1日1回未満	2-3回未満	頻りに多い
3. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
4. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
5. ハム・ソーシウ・ベーコン	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
6. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
7. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
8. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
9. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
10. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
11. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
12. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
13. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
14. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
15. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
16. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
17. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
18. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
19. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い
20. お好み焼き、お好み揚げ	よく食べる	よく食べる	2-3回未満	頻りに多い

合計点 点

第2回 月替わりの卓上メモ・ポスター等を活用した普及啓発



- 対象：モデル企業社員並びに関連企業社員 387人
- 期間：平成27年8～10月
- 方法：調査結果をもとに、課題に応じた具体的な健康情報の発信
(社内ポスター掲示・食堂内の卓上メモの設置)

第3回 実践・健康教育 『はじめよう！高血圧予防』

- 日時：平成27年10月6日（火）17:15～18:15
- 対象：モデル企業社員 62人
- 内容：市栄養士・いずみ会と連携し『高血圧予防』をテーマに健康教育を実施

塩分濃度の違う味噌汁2種類（0.8%、1.0%）試飲や、食塩フードモデルは大変好評でした。



第4回 但馬全域の企業に向けてリーフレットを配付

働きざかり世代の皆様へ

『はじめよう！食を通じた健康づくりのすすめ』



- 対象：但馬全域の企業
- 期間：平成28年1月～
- 方法：但馬労働基準協会登録企業に郵送配布
- 内容：実態調査の結果や、平成20年度ひょうご健康食生活実態調査結果より、但馬地域の働きざかり世代に特に気をつけてほしい食生活のポイントをまとめました。『健康経営』の概念についても紹介！